

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-003-23改01
提出年月日	2023年2月15日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料
原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備
(原子炉補機代替冷却系)

(本文)

2023年2月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

8.3 原子炉補機代替冷却系

(2) 熱交換器

常設

- ・ 残留熱除去系熱交換器

可搬型

- ・ 移動式代替熱交換設備プレート式熱交換器

(3) ポンプ

可搬型

- ・ 移動式代替熱交換設備淡水ポンプ
- ・ 大型送水ポンプ車

(5) 容器

常設

- ・ 原子炉補機冷却系サージタンク

(6) ろ過装置

可搬型

- ・ 移動式代替熱交換設備ストレーナ

(9) 主配管

常設

可搬型

8.3 原子炉補機代替冷却系

- (2) 熱交換器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力 (管側及び胴側の別に記載すること。), 最高使用温度 (管側及び胴側の別に記載すること。), 伝熱面積, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

以下の設備は, 既存の残留熱除去設備の残留熱除去系であり, 原子炉補機代替冷却系として本工事計画で兼用する。

常設

残留熱除去系熱交換器

可搬型

			変更前	変更後
名 称				移動式代替熱交換設備プレート式熱交換器
種 類		—		プレート式
容 量 ^{*1}		MW/個		11.5 以上 (11.5 ^{*2})
淡 水 側	最高使用圧力 ^{*1}	MPa		1.37 ^{*2}
	最高使用温度 ^{*1}	℃		70 ^{*2}
海 水 側	最高使用圧力 ^{*1}	MPa		1.00 ^{*2}
	最高使用温度 ^{*1}	℃		65 ^{*2}
伝 熱 面 積 ^{*1}		m ² /個		□以上 (□ ^{*2})
主 要 寸 法	た て	mm	—	2177 ^{*2}
	横	mm		780 ^{*2}
	高 さ	mm		2000 ^{*2}
	車 両 全 長	mm		15900 ^{*2}
	車 両 全 幅	mm		2490 ^{*2}
	車 両 高 さ	mm		4090 ^{*2}
材 料	熱 交 換 器 側 板	—		□
	熱 交 換 器 伝 熱 板	—		□
個 数		—		4 ^{*3}
車 両 個 数				2(予備 1)
取 付 箇 所		—	—	<p>保管箇所：</p> <p>屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 13000mm～33000mm 第3保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア</p> <p>予備を含めた3個を上記3箇所のうち第1保管 エリアに1個、第3保管エリアに1個及び第4 保管エリアに1個を保管する。</p> <p>取付箇所：</p> <p>屋外 EL 約 15000mm 原子炉建物南側 又は西側近傍</p>

注：移動式代替熱交換設備プレート式熱交換器は大型送水ポンプ車と連結して使用する。

注記*1：重大事故等時における使用時の値

*2：公称値を示す。

*3：車両1台につき2個設置する。

(3) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)

可搬型

			変更前	変更後	
名 称				移動式代替熱交換設備淡水ポンプ	
ポ ン プ	種 類	—		うず巻形	
	容 量* ¹	m ³ /h/個		300 以上 (300* ²)	
	揚 程* ¹	m		55 以上 (75* ²)	
	最高使用圧力* ¹	MPa		1.37* ²	
	最高使用温度* ¹	℃		70* ²	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		150* ²
		吐 出 口 径	mm		100.0* ²
		た て	mm		670* ²
		横	mm		140* ²
		高 さ	mm		430* ²
材 料	ケーシング	—		SCS14	
個 数	—			4* ³	
取 付 箇 所	—			保管箇所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 13000mm～33000mm 第3保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた3個を上記3箇所のうち第1保管 エリアに1個, 第3保管エリアに1個及び第4 保管エリアに1個を保管する。 取付箇所： 屋外 EL 約 15000mm 原子炉建物南側 又は西側近傍	

			変更前	変更後
原 動 機	種 類	—	—	誘導電動機
	出 力	kW/個		110* ²
	個 数	—		4* ³
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ

注記*1：重大事故等時における使用時の値

*2：公称値を示す。

*3：車両1台につき2個設置する。

			変更前	変 更 後	
名 称				大型送水ポンプ車	
ポ ン プ	種 類	—		うず巻形	
	容 量* ¹	m ³ /h/個		780 以上* ² , <input type="text"/> 以上* ³ (1800* ⁴)	
	吐 出 圧 力* ¹	MPa		<input type="text"/> 以上* ² , <input type="text"/> 以上* ³ (1.20* ⁴)	
	最 高 使 用 圧 力* ¹	MPa		<input type="text"/>	
	最 高 使 用 温 度* ¹	℃		<input type="text"/>	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		<input type="text"/> * ⁴
		吐 出 口 径	mm		<input type="text"/> * ⁴
		た て	mm		<input type="text"/> * ⁴
		横	mm		<input type="text"/> * ⁴
		高 さ	mm		<input type="text"/> * ⁴
	車 両 全 長	車 両 全 長	mm		11995* ⁴
		車 両 全 幅	mm		2495* ⁴
		車 両 全 幅 (アウトリガ 最大張出)	mm	—	3980* ⁴
	車 両 高 さ	mm		3510* ⁴	
	材 料	ケーシング	—		<input type="text"/> (J I S G 5 5 0 2 相当)
	個 数	—			2(予備1* ⁵)
	取 付 箇 所	—			保管場所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 13000mm～33000m 第3保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた3個を上記3箇所のうち第1保管エリアに1個，第3保管エリアに1個及び第4保管エリアに1個を保管する。 取付箇所： 屋外 EL 約 8500mm 2号取水槽近傍

名 称			変更前	変 更 後
原 動 機	種 類	—		ディーゼルエンジン
	出 力	kW/個		<input type="checkbox"/>
	個 数	—		2 (予備 1* ⁵)
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ

注記*1：重大事故等時における使用時の値

*2：原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（移動式代替熱交換設備使用時）で使用する場合の値

*3：原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（大型送水ポンプ車による海水直接注入時）で使用する場合の値

*4：公称値を示す。

*5：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建物放水設備）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建物放水設備）と予備を兼用

- (5) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

以下の設備は, 既存の原子炉補機冷却設備の原子炉補機冷却系であり, 原子炉補機代替冷却系として本工事計画で兼用する。

常設

原子炉補機冷却系サージタンク

(6) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び
取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

可搬型

			変更前	変更後
名 称				移動式代替熱交換設備ストレーナ
種 類		—		T型ストレーナ
容 量*1		m ³ /h/個		780 以上 (780*2)
最 高 使 用 圧 力*1		MPa		1.00
最 高 使 用 温 度*1		℃		□
主 要 寸 法	全 長	mm		1000*2
	直 径	mm		—
	高 さ	mm		400*2
材 料	胴 板	—		STPG370
個 数		—		4*3
取 付 箇 所		—	—	保管箇所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 13000mm～33000mm 第3保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた3個を上記3箇所のうち第1保管 エリアに1個, 第3保管エリアに1個及び第4 保管エリアに1個を保管する。 取付箇所： 屋外 EL 約 15000mm 原子炉建物南側 又は西側近傍

注記*1：重大事故等における使用時の値

*2：公称値を示す。

*3：車両1台につき2個設置する。

(9) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料 (常設及び可搬型の別に記載し, 可搬型の場合は, 個数及び取付箇所を付記すること。)

常設

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
—						原子炉補機代替冷却系接続口 (西) 供給側 ～ B-原子炉補機代替冷却供給ライン分岐部 (原子炉建物西側)	1.37*2	85*2	267.4*3	9.3*3	STPT410*3
									267.4	9.3	STPT410
									267.4	9.3	STPT410
									/267.4	/9.3	
						B-原子炉補機代替冷却供給ライン分岐部 (原子炉建物西側) ～ A-原子炉補機代替冷却供給ライン合流部 (原子炉建物西側)	1.37*2	85*2	267.4	9.3	STPT410
									267.4*3	9.3*3	STPT410*3
									406.4	12.7	STPT410
/267.4	/9.3										

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
						原子炉補機代替冷却系	1.37*2	85*2	267.4	9.3	STPT410
									267.4 /267.4	9.3 /9.3	STPT410
						原子炉補機代替冷却系	1.37*2	85*2	267.4*3	9.3*3	STPT410*3
									267.4	9.3	STPT410

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
—						原子炉補機代替冷却系	1.37*2	85*2	原子炉補機代替冷却系接続口（屋内）	267.4	9.3	STPT410
									～			
									原子炉補機代替冷却系接続口（屋内）ライン合流部	267.4*3	9.3*3	STPT410*3
						A-原子炉補機代替冷却戻りライン分岐部 （原子炉建物西側）	1.37*2	85*2	267.4*3	9.3*3	STPT410*3	
						A-原子炉補機代替冷却戻りライン合流部 （原子炉建物西側）			267.4	9.3	STPT410	

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
—						A-原子炉補機代替 冷却戻りライン合 流部（原子炉建物西 側） ～ 原子炉補機代替冷 却系接続口（西）戻 り側	1.37*2	85*2	267.4	9.3	STPT410
									/267.4	/9.3	
									/267.4	/9.3	
						B-原子炉補機代替 冷却戻りライン分 岐部（原子炉建物西 側） ～ A-原子炉補機代替 冷却戻りライン合 流部（原子炉建物西 側）	1.37*2	85*2	267.4	9.3	STPT410
									267.4	9.3	
									267.4	9.3	
						A-原子炉補機代替 冷却戻りライン合 流部（原子炉建物西 側）	1.37*2	85*2	406.4*3	12.7*3	STPT410*3
									406.4	12.7	STPT410
									/267.4	/9.3	STPT410
									267.4	9.3	STPT410*3
A-原子炉補機代替 冷却戻りライン合 流部（原子炉建物西 側）	1.37*2	85*2	267.4	9.3	STPT410						
			/—	/—							
A-原子炉補機代替 冷却戻りライン合 流部（原子炉建物西 側）	1.37*2	85*2	267.4	9.3	STPT410						
			/267.4	/9.3							

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
						原子炉補機代替冷却系	1.37*2	85*2	原子炉補機代替冷却系接続口（南）供給側	267.4*3	9.3*3	STPT410*3
									～	267.4	9.3	STPT410
									B-原子炉補機代替冷却供給ライン合流部（原子炉建物南側）	267.4 /267.4 /—	9.3 /9.3 /—	STPT410
						原子炉補機代替冷却系	1.37*2	85*2	B-原子炉補機代替冷却戻りライン分岐部（原子炉建物南側）	267.4	9.3	STPT410
									～	267.4*3	9.3*3	STPT410*3
									原子炉補機代替冷却系接続口（南）戻り側	267.4 /267.4 /—	9.3 /9.3 /—	STPT410

注記*1：公称値を示す。

*2：重大事故等時における使用時の値

*3：エルボを示す。

以下の設備は、既存の原子炉補機冷却系であり、原子炉補機代替冷却系として本工事計画で兼用する。

常設

- A-原子炉補機代替冷却供給ライン合流部（原子炉建物西側）～A-2 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部
- A-2 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部～A-1 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部
- A-1 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部～A-残留熱除去系熱交換器入口ライン分岐部
- A-残留熱除去系熱交換器出口ライン合流部～A-原子炉補機冷却系サージタンク出口ライン合流部
- A-原子炉補機冷却系サージタンク出口ライン合流部～A-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン分岐部
- A-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン分岐部～A-原子炉補機代替冷却戻りライン分岐部（原子炉建物西側）
- A-原子炉補機冷却系サージタンク～A-原子炉補機冷却系サージタンク出口ライン合流部
- B-残留熱除去系熱交換器出口ライン合流部～B-原子炉補機冷却系サージタンク出口ライン合流部
- B-原子炉補機代替冷却供給ライン合流部（原子炉建物西側）～B-2 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部
- B-2 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部～B-1 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部
- B-1 原子炉補機冷却系熱交換器出口ライン合流部～B-残留熱除去系熱交換器入口ライン分岐部
- B-原子炉補機冷却系サージタンク～B-原子炉補機冷却系サージタンク出口ライン合流部
- A-残留熱除去系熱交換器入口ライン分岐部～A-燃料プール冷却系熱交換器入口ライン分岐部
- A-燃料プール冷却系熱交換器入口ライン分岐部～A-残留熱除去系熱交換器
- A-残留熱除去系熱交換器～A-燃料プール冷却系熱交換器出口ライン合流部
- A-燃料プール冷却系熱交換器出口ライン合流部～A-残留熱除去系熱交換器出口ライン合流部
- A-燃料プール冷却系熱交換器入口ライン分岐部～A-非常用ディーゼル発電設備潤滑油冷却器入口ライン分岐部
- A-非常用ディーゼル発電設備潤滑油冷却器入口ライン分岐部～A-中央制御室空調換気設備冷却水系冷凍機入口ライン分岐部
- A-非常用ディーゼル発電設備機関付空気冷却器出口ライン合流部～A-燃料プール冷却系熱交換器出口ライン合流部
- A-中央制御室空調換気設備冷却水系冷凍機入口ライン分岐部～A-燃料プール冷却系熱交換器
- A-燃料プール冷却系熱交換器～A-非常用ディーゼル発電設備機関付空気冷却器出口ライン合流部
- B-残留熱除去系熱交換器入口ライン分岐部～B-燃料プール冷却系熱交換器入口ライン分岐部
- B-燃料プール冷却系熱交換器入口ライン分岐部～B-残留熱除去系熱交換器

B-残留熱除去系熱交換器～B-燃料プール冷却系熱交換器出口ライン合流部
B-燃料プール冷却系熱交換器出口ライン合流部～B-原子炉補機代替冷却戻りライン分岐部（原子炉建物西側）
B-原子炉補機代替冷却戻りライン分岐部（原子炉建物西側）～B-残留熱除去系熱交換器出口ライン合流部
B-燃料プール冷却系熱交換器入口ライン分岐部～B-非常用ディーゼル発電設備潤滑油冷却器入口ライン分岐部
B-非常用ディーゼル発電設備潤滑油冷却器入口ライン分岐部～B-原子炉補機代替冷却供給ライン合流部（原子炉建物南側）
B-原子炉補機代替冷却供給ライン合流部（原子炉建物南側）～原子炉浄化系補助熱交換器入口ライン分岐部（胴側）
原子炉浄化系補助熱交換器入口ライン分岐部（胴側）～B-中央制御室空調換気設備冷却水系冷凍機入口ライン分岐部
B-中央制御室空調換気設備冷却水系冷凍機出口ライン合流部～B-燃料プール冷却系熱交換器出口ライン合流部
B-原子炉補機代替冷却戻りライン分岐部（原子炉建物南側）～B-非常用ディーゼル発電設備機関付空気冷却器出口ライン合流部
B-非常用ディーゼル発電設備機関付空気冷却器出口ライン合流部～B-中央制御室空調換気設備冷却水系冷凍機出口ライン合流部
B-中央制御室空調換気設備冷却水系冷凍機入口ライン分岐部～B-燃料プール冷却系熱交換器
B-燃料プール冷却系熱交換器～原子炉浄化系補助熱交換器出口ライン合流部（胴側）
原子炉浄化系補助熱交換器出口ライン合流部（胴側）～B-非常用ディーゼル発電設備機関付空気冷却器出口ライン合流部

可搬型

変更前								変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所
—								大型送水ポンプ車 入口ライン 取水用 20m, 5m, 1m ホース	1.40*1	□*1	250A*2	—*3	ポリエ ステル ・ポリウ レタン	12 (予備3*4) *5	保管場所: 屋外 EL約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた15本*5を上記2箇所のうち第1 保管エリアに9本及び第4保管エリアに6本 保管する。 取付箇所: 屋外 EL約 8800mm 2号取水槽 ~ 屋外 EL約 8500mm 2号取水槽近傍 大型送水 ポンプ車(6本)
								原子炉補機代替冷却系	大型送水ポンプ車 出口ライン送水用 50m, 5m, 2m ホース	1.40*1	□*1	300A*2	—*3	ポリエ ステル ・ポリウ レタン	38 (予備3*6) *7

S2 補 II R0

変更前								変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	
—								原子炉補機代替冷却系	大型送水ポンプ車 出口ライン送水用 15m ホース	1.00*1	65*1	250A*2	—*3	ポリエ ステル・ ポリウ レタン	6 (予備1)*10	保管場所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた7本*10を上記2箇所のうち第1 保管エリアに3本及び第4保管エリアに4本 保管する。 取付箇所： ・屋外 EL 約 8500mm 2号取水槽近傍 大型 送水ポンプ車 ~ 屋外 EL 約 15000mm 原 子炉建物南側又は西側近傍 移動式代替熱 交換設備 (2本) ・屋外 EL 約 15000mm 原子炉建物南側又は西 側近傍 移動式代替熱交換設備 (海水側出口 排水用) (1本)
									大型送水ポンプ車 出口ライン送水用 10m, 5m ホース	1.40*1	□*1	150A*2	—*3	ポリウ レタン	60 (予備2)*11	保管場所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた62本*11を上記2箇所のうち第 1保管エリアに30本及び第4保管エリアに 32本保管する。 取付箇所： 屋内 EL 約 9100mm タービン建物北側扉 ~ 大型送水ポンプ車出口ライン送水用 1m ホー ス (30本*12)

変更前							変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所
			—					原子炉補機代替冷却系	1.40*1	□*1	200A*2	—*3	ポリウレタン	6 (予備1)*13	保管場所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた7本*13を上記2箇所のうち第1保管エリアに3本及び第4保管エリアに4本保管する。 取付箇所： 大型送水ポンプ車出口ライン送水用 10m, 5m ホース ~ 屋内 EL 約 15300mm 原子炉補機代替冷却系接続口（屋内）（3本）

変更前								変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	
—								原子炉補機代替冷却系	移動式代替熱交換 設備入口ライン 戻り用 5m ホース	1.37*1	70*1	250A*2	—*3	SUS304	12 (予備1)*14	保管場所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた13本*14を上記2箇所のうち第1保管エリアに6本及び第4保管エリアに7本保管する。 取付箇所： 屋外 EL 約 15000mm 原子炉建物南側又は西側近傍 移動式代替熱交換設備 ～ 屋外 EL 約 15000mm 原子炉補機代替冷却系接続口（西）戻り側又は屋外 EL 約 15300mm 原子炉補機代替冷却系接続口（南）戻り側(6本)
—									移動式代替熱交換 設備出口ライン 供給用 5m ホース	1.37*1	70*1	250A*2	—*3	SUS304	12 (予備1)*15	保管場所： 屋外 EL 約 50000mm 第1保管エリア 屋外 EL 約 8500mm 第4保管エリア 予備を含めた13本*15を上記2箇所のうち第1保管エリアに6本及び第4保管エリアに7本保管する。 取付箇所： 屋外 EL 約 15000mm 原子炉建物南側又は西側近傍 移動式代替熱交換設備 ～ 屋外 EL 約 15000mm 原子炉補機代替冷却系接続口（西）供給側又は屋外 EL 約 15300mm 原子炉補機代替冷却系接続口（南）供給側(6本)

注記*1：重大事故等時における使用時の値

*2：メーカーにて規定する呼び径を示す。

*3：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

- *4 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建物放水設備）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建物放水設備）の予備として兼用
- *5 : 当該本数 15 本（必要本数 6 本（20m : 2 本, 5m : 2 本, 1m : 2 本）の 2 セットに予備各 1 本を加えた数量）を保管する。
- *6 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建物放水設備）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建物放水設備）の予備として兼用
- *7 : 当該本数 41 本（必要本数 19 本（50m : 10 本, 5m : 7 本, 2m : 2 本）の 2 セットに予備各 1 本を加えた数量）を保管する。
- *8 : 最長ルートである「屋外 EL 約 8500mm 2号取水槽近傍 大型送水ポンプ車～西側道路～屋外 EL 約 15000mm 原子炉建物西側近傍 移動式代替熱交換設備」に敷設した場合（50m : 10 本, 5m : 1 本, 2m : 1 本）の本数を示す。
- *9 : 最長ルートである「屋外 EL 約 8500mm 2号取水槽近傍 大型送水ポンプ車～屋内 EL 約 9100mm タービン建物北側扉」に敷設した場合（50m : 2 本, 5m : 1 本, 2m : 2 本）の本数を示す。
- *10 : 当該本数 7 本（必要本数 3 本（15m : 3 本）の 2 セットに予備 1 本を加えた数量）を保管する。
- *11 : 当該本数 62 本（必要本数 30 本（10m : 28 本, 5m : 2 本）の 2 セットに予備各 1 本を加えた数量）を保管する。
- *12 : 最長ルートである「屋内 EL 約 9100mm タービン建物北側扉～屋内 EL 約 15300mm 原子炉補機代替冷却系接続口（屋内）」に敷設した場合（10m : 28 本, 5m : 2 本）の本数を示す。
- *13 : 当該本数 7 本（必要本数 3 本（1m : 3 本）の 2 セットに予備 1 本を加えた数量）を保管する。
- *14 : 当該本数 13 本（必要本数 6 本（5m : 6 本）の 2 セットに予備 1 本を加えた数量）を保管する。
- *15 : 当該本数 13 本（必要本数 6 本（5m : 6 本）の 2 セットに予備 1 本を加えた数量）を保管する。